

**静岡県立中央図書館整備における  
建築設計者選定に係るプロポーザル方式**  
(静岡型プロポーザル方式)

コストと性能を担保しつつ新図書館が目指すべき姿を実現するために、あらかじめ必要な機能を明確に示すとともに、提案者からのより良いアイデアを柔軟に受け入れることができるように工夫した公募型プロポーザル方式

《発注方式の工夫》

①設計条件の事前精査と応募者の自由な提案の確保

公募に先立ち、「プレ・デザイン (※)」による設計条件の精査を通じて要求水準（目標とする性能）を具体的に提示した上で、提案者に自由な提案を求める。

②参加者の創造性への配慮

参加資格要件をできるだけ低く設定するとともに、提出物を適切な範囲に留め、参加者が提案書の作成に専念できるように配慮する。

③提案の現実性への配慮

提示した要求水準を満たす施設整備を予定予算内で実現できるよう、事前に要求水準を精査するとともに、審査においても、提案者のコストコントロール能力の評価を議論等を通じて丁寧に行うことで、予算超過リスクの軽減を図る。

(※)「プレ・デザイン」とは

下記①②を繰り返すことにより予算内で実現可能性のある要求水準を洗い出す作業を「プレ・デザイン」と呼んでいる。

①試設計による要求水準の洗い出し

想定している条件（面積要件等）のみで諸室の配置を行った上で運営シミュレーションを行い、構想段階では見えにくい条件を抽出する。(条件の後出しを最小限に留める工夫)

②精度の高い概算工事費の算出

上記、試設計モデルをベースに概算工事費を算出し、予算内に収まっていることを確認する。(予算に見合った要求水準の把握)